低価格理由とその詳細内容

番号	低価格理由	低価格理由の詳細内容
①	資材費（仮設材含む）の低減	資材・労務費を含めた見積競争
②	労務費の低減	資材・労務費を含めた見積競争
③	機械経費の低減	
④	新材料・新技術	
⑤	作業効率の向上	
⑥	下請業者の協力	
⑦	経費の低減	
⑧	現場管理費低減	管理費等の縮減
⑨	安全資機材低減	
⑩	本支店経費の低減	
⑪	利益の低減	最小限の利益確保
⑫	受注実績の取得	
⑬	売上の確保	
⑭	その他	

上表の「低価格理由の詳細内容」は、元請負者が入札時の事情聴取で申告した低価格理由を項目毎に分類して例示したものです。

比較表－1

積算内訳書の比較表

記入要領	1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	水理実験場内外壁補修工事											
工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/官積(%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/官積(%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
[建築工事]												
仮設工事	式	1	4,089,918	1	2,983,520	72.9%	1	2,876,420	1	3,934,028	73.1%	
外壁補修工事	式	1	3,415,175	1	3,887,750	113.8%	1	5,149,150	1	5,373,580	95.8%	
内壁補修工事	式	1	917,360	1	676,380	73.7%	1	1,039,080	1	1,420,570	73.1%	
発生材処分	式	1	1,643	1	37,800	2300.7%	1	383,520	1	17,062	2247.8%	
直接工事費	式	1	8,424,096	1	7,585,450	90.0%	1	9,448,170	1	10,745,240	87.9%	
共通仮設費	式	1	404,347	1	333,750	82.5%	1	425,000	1	489,805	86.8%	
共通仮設費	式	1	404,347	1	333,750	82.5%	1	425,000	1	489,805	86.8%	
純工事費	式	1	8,828,443	1	7,919,200	89.7%	1	9,873,170	1	11,235,045	87.9%	
現場管理費	式	1	1,853,050	1	1,085,400	58.6%	1	1,360,630	1	2,136,164	63.7%	
工事原価	式	1	10,681,493	1	9,004,600	84.3%	1	11,233,800	1	13,371,209	84.0%	
一般管理費等	式	1	1,170,691	1	795,400	67.9%	1	1,016,200	1	1,451,036	70.0%	
工事価格	式	1	11,852,184	1	9,800,000	82.7%	1	12,250,000	1	14,822,245	82.6%	

比較表－2

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	水理実験場内外壁補修工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
[建築工事]														
仮設工事														
養生(外壁改修)	㎡	250.0	260	65,000	250.0	500	125,000	131.0	500	65,500	131.0	260	34,060	
養生(内壁改修)	㎡	121.0	70	8,470	121.0	500	60,500	121.0	500	60,500	121.0	70	8,470	
整理清掃後片付け(外部)	㎡	250.0	1,050	262,500	250.0	400	100,000	131.0	400	52,400	131.0	1,050	137,550	外壁改修
整理清掃後片付け(内部)	㎡	121.0	270	32,670	121.0	600	72,600	121.0	600	72,600	121.0	270	32,670	内壁改修
枠組本足場w=600	掛㎡	687.0	1,710	1,174,770	687.0	1,700	1,167,900	687.0	1,700	1,167,900	687.0	1,710	1,174,770	
養生シート(外部内部足場用	掛㎡	1,228.0	560	687,680	1228.0	400	491,200	1228.0	400	491,200	1,228.0	560	687,680	
安全手摺(枠組本足場用)	掛m	65.4	500	32,700	65.4	800	52,320	65.4	800	52,320	65.4	500	32,700	
内部単管足場(10m未満)	掛㎡	541.0	2,720	1,471,520	541.0	1,600	865,600	541.0	1,600	865,600	541.0	2,720	1,471,520	
安全手摺(内部単管足場用)	掛m	60.5	890	53,845	60.5	800	48,400	60.5	800	48,400	60.5	890	53,845	
枠組本足場運搬	掛㎡	687.0	200	137,400							687.0	200	137,400	
単管本足場運搬	掛㎡	541.0	270	146,070							541.0	270	146,070	
安全手摺運搬(枠組足場用)	掛m	65.4	50	3,270							65.4	50	3,270	
安全手摺運搬(単管足場用)	掛m	60.5	110	6,655							60.5	110	6,655	
養生シート運搬	掛㎡	1,228.0	6	7,368							1,228.0	6	7,368	
小計				4,089,918			2,983,520			2,876,420			3,934,028	

外壁補修工事														
施工数量調査(外部)	㎡	575.0	200	115,000	575.0	300	172,500	575.0	300	172,500	575.0	200	115,000	
欠損・爆裂・浮き部補修	箇所	149.0	7,500	1,117,500	149.0	6,000	894,000	528.0	6,000	3,168,000	528.0	7,500	3,960,000	樹脂モルタル充填300角程度
ひび割れ部	m	1.9	3,450	6,555	1.9	3,500	6,650	4.6	3,500	16,100	4.6	3,450	15,870	
腰壁クラック補修	m	118.0	6,120	722,160	118.0	7,000	826,000	0.0	7,000	0	0.0	6,120	0	
高圧水洗浄(外部)	㎡	652.0	910	593,320	652.0	300	195,600	481.0	300	144,300	481.0	910	437,710	
下地調整塗材(外部)	㎡	652.0	300	195,600	652.0	750	489,000	481.0	750	360,750	481.0	300	144,300	
複層塗材E	㎡	652.0	1,020	665,040	652.0	2,000	1,304,000	481.0	2,000	962,000	481.0	1,020	490,620	
シーリング撤去 ALC	m							126.0	600	75,600	126.0	410	51,660	
シーリング打込 ALC	m							126.0	1,200	151,200	126.0	750	94,500	
シーリング撤去 サッシ	m							47.0	600	28,200	47.0	410	19,270	
シーリング打込　サッシ	m							47.0	1,500	70,500	47.0	950	44,650	
小計				3,415,175			3,887,750			5,149,150			5,373,580	
内壁補修工事														
施工数量調査(内部)	㎡	58.6	200	11,720	58.6	300	17,580	58.6	300	17,580	58.6	200	11,720	
欠損・爆裂・浮き部補修	箇所	85.0	7,500	637,500	85.0	6,000	510,000	135.0	6,000	810,000	135.0	7,500	1,012,500	
ひび割れ部	m	10.4	3,450	35,880	10.4	3,500	36,400	11.0	3,500	38,500	11.0	3,450	37,950	
外装薄塗材E	箇所	85.0	2,500	212,500	85.0	1,200	102,000	135.0	1,200	162,000	135.0	2,500	337,500	
外装薄塗材E	m	10.4	1,900	19,760	10.4	1,000	10,400	11.0	1,000	11,000	11.0	1,900	20,900	
小計				917,360			676,380			1,039,080			1,420,570	

発生材処分														
モルタル殻	kg				126.0	300	37,800	1164.0	300	349,200				積込、運搬含む
シーリング材	kg						0	42.9	800	34,320				積込、運搬含む
発生材積込み	m3	0.2	3,460	692							1.8	3,460	6,228	
発生材運搬(モルタル材)	m3	0.2	3,810	762							1.8	3,810	6,858	
発生材運搬(シーリング材)	m3										0.03	2,690	80	
発生材処分費	式	1.0	189	189							1.0	3,896	3,896	
小計				1,643			37,800			383,520			17,062	
合計				8,424,096			7,585,450			9,448,170			10,745,240	

比較表－3

手持ち資材の比較表（主要資材）

記入要領	1) 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入して下さい。 3) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 4) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価欄は、主要資材相当品のみを記入する。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	水理実験場内外壁補修工事												
品名	規格・型式	単位	使用工種等	入札時（当初の予定）				工事完成時（実績）				官単価※（最終）	備考
				手持ち数量	単価	本工事での使用予定量	不足数量の手当方法	手持ち数量	単価	本工事での使用量	不足数量の手当方法		
養生シート	1k×2k	枚	仮設工	206	120	160	協力会社対応	0	0	0	協力会社対応		
養生シート	2k×3k	枚	仮設工	402	200	20	協力会社対応	0	0	0	協力会社対応		
養生ネット	5m×5m	枚	仮設工	90			協力会社対応	0	0	0			
養生ネット	10m×10m	枚	仮設工	15			協力会社対応	0	0	0			
コンパネ	3×6 12mm	枚	仮設工	141	1,500	100		141	1,500	141			
脚立	9尺	脚	仮設工	9			協力会社対応	0	0	0	協力会社対応		
脚立	7.5尺	脚	仮設工	4			協力会社対応	0	0	0			
脚立	6尺	脚	仮設工	18	100	1		18	100	18			
脚立	4尺	脚	仮設工	17			協力会社対応	0	0	0			
足場板	鋼製4000	枚	仮設工	185	300	185	協力会社対応	0	0	0	協力会社対応		
単管	3000	本	仮設工	64	1,800	60		64	1,800	26			
単管	2000	本	仮設工	10	1,500	10		10	1,500	10			

比較表－4

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

記入要領	1)「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。 3) 総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。 4) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 5) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材(購入価格が工事費の約0.3%以上の資材)とし、軽微な資材は省略する。 6) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	水理実験場内外壁補修工事

工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)					工事完成時(実績)					※ 官単価 (最終)	備考
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名				
					業者名	所在地	入札者との関係			業者名	所在地	入札者との関係		
					該当なし									

比較表－5

手持ち機械の比較表（主要機械）

記入要領	1) 本様式には、主に当該工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入して下さい。 2) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 3) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要機械相当品(各機械経費が工事費の約 0.3%以上の機器)のみでよい。 4) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	水理実験場内外壁補修工事

機械名称	規格・型式・能力・年式	単位	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)			官単価※(最終)	備考
			数量	単価	メーカ名	現在の利用状況	数量	単価	メーカ名		
ダンプ2t	U-wglad H7年式	台	1		マツダ		1		マツダ		資機材運搬
ダンプ4t	KK-fk71gc H13年式	台	1		三菱		1		三菱		
バックホウ	312C 0.5m3 H18年式	台	1		ｷｬﾀﾋﾟﾗｰ						
ﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ	φ100	台	3		日立		1		日立		
ﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ	G15Y1	台	2		日立		1		日立		

比較表－6

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は( )なしで記入する。 ・自社労務者は( )内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	水理実験場内外壁補修工事

工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
	一般運転手	(14,200)	(0)	自社	(14,000)	(33)	自社	15,300	
	普通作業員	(14,200)	(30)	自社	(14,000)	(20)	自社	14,900	
左官工	左官工	18,500	120	㈱工材 協力会社	18,500	96	㈱工材 協力会社	17,500	
左官工	防水・吹付工	18,500	80	㈱工材 協力会社	18,500	46	㈱工材 協力会社	17,500	
鳶・土工	とび工	17,500	60	㈱金田建設工業 協力会社	18,000	52	㈱金田建設工業 協力会社	17,600	

比較表－7

工種別労務者配置計画の比較表

記入要領	1) 職種名は例示したものなので、該当する職種名に変更して記入して下さい。 2) 世話役が、他の工種または他の工事と兼任している場合、正当な人数になるように按分してください。 3) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。
工事名	水理実験場内外壁補修工事

工種	種別	入札時（当初の予定）						工事完成時（実績）						備考
		配置予定人数					計	配置人数					計	
		世話役	普通作業員(特殊含)	配管工	電工	オペ		世話役	普通作業員(特殊含)	配管工	電工	オペ		
土工事	普通作業員	30	120				150	12	53				65	
鳶・土工	とび工	10	80				90	12	40				52	
左官工事	左官工・防水・吹付工	20	220				240	30	112				142	

比較表－8

建設副産物の搬出等の比較表

記入要領	1) 当該工事で発生する、すべての建設副産物について記入してください。 2) 記入してある名称以外の建設副産物がある場合は、名称を追加して記入して下さい。 3) 受け入れ価格は、建設副産物の処分のみに要した価格を記入してください(収集、運搬等に要した費用を除く)。 4) ※印の官積算価格欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。					
工事名	水理実験場内外壁補修工事					
建設副産物の名称	入札時(当初の予定)		工事完成時(実績)		官積算価格※ (最終)	備考
	受け入れ予定箇所	受け入れ価格	受け入れた箇所	受け入れた価格		
モルタル殻	北越環境㈱	12,000円/m3	北越環境㈱	12,000円/m3		
シーリング材			北越環境㈱	11,000円/m3		

【諸経費動向調査(工事費)】

Ⅲ 工事費内訳　　注)消費税抜きで記入してください　　金額単位:千円

費目	元請+元請外注	元請	元請外注合計	1 ㈱金田建設工業 足場工	2 ㈱工材 左官工	3 北越環境㈱ 発生材処分	4	5
① 直接工事費	9,439		7,260	2,020	4,950	290		
(1) 材料費	4,150		2,977	854	2,123			
(2) 労務費	5,289		4,283	1,166	2,827	290		
(3) 機械機具等損料								
(4) 貸与機械等現場修理・管理費								
(5) 直接経費								
A 特許使用料								
B 光熱電力使用料								
(6) 特殊経費								
② 間接工事費	1,843	1,590						
(1) 共通仮設費	422	350						
イ 運搬費	332	350						
A 器機材								
1 仮設材①	82	60						
2 仮設材②								
3 仮設材③								
4 敷鉄板類①								
5 敷鉄板類②								
6 敷鉄板類③								
7 橋梁等架設支保工								
8 橋梁用架設タワー等								
9 橋梁用仮設桁設備								
10 積み込み取り卸し費								
11 トンネル用スライドセントル								
12 その他								
B 建設機械20t未満								
① 自走・貨物自動車等による運搬	250	250						
② 日々回送による運搬								
③ 現場内小運搬								
C 建設機械20t以上								
① 貨物自動車等 による運搬								
② 自走 による運搬								
③ 日々回送による運搬								
④ 現場内小運搬								
ロ 準備費		20						
A 準備・測量等		20						
B その他								
ハ 事業損失防止施設費								
ニ 安全費								
安全留意度「建設工事公衆災害防止対策要綱」について選択								
A 安全管理費								
① 工事区域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要した費用(稼働日の保安要員等の費用を含む)								
② 不稼働日の保安要員等の費用								
③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用及び使用期間中の損料								
④ 夜間作業を行う場合における照明に要した費用								
⑤ 酸素欠乏症の予防に要した費用								
⑥ 河川、海岸工事における救命艇に要した費用								
⑦ 粉塵作業の予防に要した費用								
⑧ 長大トンネル等における防火安全対策に要した費用								
⑨ 安全用品等の費用								
⑩ 安全委員会等に要した費用								
⑪ 国土交通省(港湾・航空)発注工事における再圧装置設置、撤去、維持管理に要した費用								
B 交通誘導員等								
C 鉄道空港安全管理								
D 美装化等								
E 高圧作業予防								
F 航路安全標識・警戒船								
G ダム発破・監視費								
H トンネル工事における呼吸用保護具								
I その他								
ホ 役務費								
A 土地の借上費								
B 電力用水等基本料								
ヘ 技術管理費								
A 品質管理費等								
B 特別な品質管理								
C 現場条件等費用								
D 品質証明(社内検査)に要した費用								
E 各種調査等								
F 各種台帳等								
G その他								
ト 営繕費	90	70						
A 建物費	90	70						
B 借上費								
C 宿泊費								
D 労働者送迎費								
E 監督員詰所等								
F 美装化等1								
G 美装化等2								
H その他								
I 労働者海上輸送費								
チ その他								
リ 技術者間接費(電気工事、光ケーブル工事の場合)								
(2) 補償費								
(3) 現場管理費	999	1,240						
イ 労務管理費								
ロ 安全訓練等費用								
A 安全・衛生に要した費用								
B 研修訓練等に要した費用								
ハ 租税公課	11	11						
ニ 社員等従業員給料手当	750	750						
ホ 退職金								
ヘ 保険料								
① 火災保険								
② 工事保険								
③ 自動車保険								
④ 組立保険								
⑤ 法定外の労災保険								
⑥ その他損害保険								
ト 法定福利費	97	97						
A 労災保険料	22	22						
B 雇用保険料	4	4						
C 健康保険料	36	36						
D 厚生年金保険料	35	35						
E 建退共制度掛金								
F 船員保険料								
チ 福利厚生費								
リ 補償費								
ヌ 通信交通費	121	121						
ル 交際費								
ヲ 寄付金								
ワ その他	20	20						
カ 外注一般管理費等								
③ 外注費(下該欄は、外注一般管理費等の自動計算値)		7,260						
④ 一般管理費等　自動計算値 = 1090	968	968						
⑤ 鋼橋等工場製作費(電気工事・光ケーブル工事の場合は、機器費)								
⑥ 別途調査等工事価格								
⑦ 工事価格	12,250	2,558	7,622	2,020	0 4,950	0 290		
⑧ 消費税相当額(下請欄は、下請工事価格の自動計算値)	980	205		2,820	4,532	290		
⑨ 工事請負金額	13,230	2,763						
⑩ 営繕費のうち、地代に要した費用								
⑪ 準備費のうち伐開・除根・除草等に要した費用								
⑫ 仮設費(直工)にてイメージアップに要した費用								
⑬ 二次下請負者の数								
⑭ 二次下請負者の外注一般管理費等の合計								
⑮ 二次下請負者への発注工事価格の合計								
⑯ 延実人員数と作業日数								
(1) 労働者延人員				42	90			
(2) (1)のうち通勤労働者延人員				42	90			
(3) 技能関係等従事者延人員								
(4) 技術事務関係社員等従業員延人員								
(5) 作業日数				8	38			
⑰ 現場管理費 その他のうち、事務用品費に要した費用	10	10						
⑱ 現場管理費 その他のうち、動力・用水光熱費に要した費用	90	90						
⑲ 安全費 その他のうち、水雷・傷害保険に要した費用								